

## 請負者が提出するその他の書類

請負者が提出するその他の書類(様式目次)

名 称	様 式	備 考	頁
再生資源利用計画書 (実施書)	「東京都建設リサイクル がトライン」様式	特記仕様書に基づく「リサイクル 計画書」「リサイクル報告書」の 添付書類。計画書については 施工計画書に含めて提出 する。 本様式の作成対象となる工 事は建設副産物を搬出する 工事。	132
再生資源利用促進計画書 (実施書)			133
建設発生土搬出のお知らせ		建設発生土を100m <sup>3</sup> 以上 搬出する工事に適用する。 発生土を搬出する区へ提出 する。	134
工事費構成書の提示依頼	特記仕様書作成要領 (土木工事) 別記第1号様式	土木工事のみ適用する。	135

# 様式1 再生資源利用計画書(実施書) ー建設資材搬入工事用ー

表面

## 1. 工事概要

灰色の部分は、記入する必要がありません。

発注機関名	発注機関コード*1	発注担当者チェック欄	担当者	TEL	( )	請負会社名	請負会社コード*2	記入年月日	H. 年 月 日
						建設業許可または解体工事業登録	大臣 知事		
						会社所在地	TEL FAX		

工事名	工事種別コード*3	請負金額	千 百 十 千 百 十 億 億 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 0,000 円 (税込み)	左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用	百 十 百 十 百 十 万 万 万 万 万 1万円未満四捨五入 0,000 円 (税込み)	再資源化等が完了した年月日	平成 年 月 日	建築面積	延床面積	階数	地上 階 地下 階
工事施工場所	都 道 市 区 府 県 町 村	住所コード*4	工期	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで							
工事概要等	施工条件の内容 (再生資源の利用に関する特記事項等)							構造 (数字に○をつける) 1.鉄骨鉄筋コンクリート造 2.鉄筋コンクリート造 3.鉄骨造 4.コンクリートブロック造 5.木造 6.その他 用途 (数字に○をつける) 1.居住専用 2.居住産業併用 3.事務所 4.店舗 5.工場、作業所 6.倉庫 7.学校 8.病院診療所 9.その他			

## 2. 建設資材利用計画(実施)

注:コード\*5~9は下記欄外のコード表より数字を選んで下さい。

※住所情報は、国の施策立案等において活用させていただきますので、番地までご記載願います。

※解体工事については、建築面積をご記入いただくなくても結構です。

建設資材(新材を含む全体の利用状況)					左記のうち、再生資材の利用状況(再生資材を利用した場合に記入して下さい)					再生資源		
分類	小分類	規格	主な利用用途	利用量(A)	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類	施工条件内容	再生資材の供給元場所住所	住所コード*4	再生資材の名称	再生資材利用量(B)	利用率
	コード*5		コード*6	小数点第一位まで		コード*7	コード*8			コード*9	小数点第一位まで(注1)	B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン							トン	%
		合計		トン							トン	%
	コンクリート及び鉄から成る建設資材			トン							トン	%
		合計		トン							トン	%
その他の建設資材	木材			トン							トン	%
		合計		トン							トン	%
	アスファルト混合物			トン							トン	%
		合計		トン							トン	%
その他の建設資材	土砂			締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
		合計		締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
	砕石			m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	%
		合計		m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	%
	塩化ビニル管・継手			トン							トン	%
		合計		トン							トン	%
	石膏ボード			トン							トン	%
		合計		トン							トン	%
	その他の建設資材			トン							トン	%
		合計		トン							トン	%

- コード\*5**  
コンクリートについて
- 1.生コン(バージン骨材)
  - 2.再生生コン(Co再生骨材H)
  - 3.再生生コン(Co再生骨材M)
  - 4.再生生コン(Co再生骨材L)
  - 5.再生生コン(その他のCo再生骨材)
  - 6.再生生コン(Co再生骨材以外の再生材)
  - 7.無筋コンクリート二次製品
  - 8.その他
- コンクリート及び鉄から成る建設資材について
- 1.有筋コンクリート二次製品
  - 2.その他
- 木材について
- 1.木材(ボード類を除く)
  - 2.木質ボード
- アスファルト混合物について
- 1.粗粒度アスコン
  - 2.密粒度アスコン
  - 3.細粒度アスコン
  - 4.開粒度アスコン
  - 5.改質アスコン
  - 6.アスファルトモルタル
  - 7.加熱アスファルト安定処理路盤材
  - 8.その他
- 土砂について
- 1.第一種建設発生土
  - 2.第二種建設発生土
  - 3.第三種建設発生土
  - 4.第四種建設発生土
  - 5.浚渫土
  - 6.土質改良土
  - 7.建設汚泥改良土
  - 8.再生コンクリート砂
  - 9.山砂、山土などの新材(購入土、採取土)
- 砕石について
- 1.クラッシャーラン
  - 2.粒度調整砕石
  - 3.鉱さい
  - 4.単粒度砕石
  - 5.ぐり石、割り石、自然石
  - 6.その他
- 塩化ビニル管・継手について
- 1.硬質塩化ビニル管
  - 2.その他
- 石膏ボードについて
- 1.石膏ボード
  - 2.シーリング石膏ボード
  - 3.強化石膏ボード
  - 4.化粧石膏ボード
  - 5.石膏ラスボード
  - 6.その他
- その他の建設資材について  
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

- コード\*6**  
アスファルト混合物について
- 1.表層
  - 2.基層
  - 3.上層路盤
  - 4.歩道
  - 5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
- 土砂について
- 1.道路路体
  - 2.路床
  - 3.河川築堤
  - 4.構造物等の裏込材、埋戻し用
  - 5.宅地造成用
  - 6.水面埋立用
  - 7.ほ場整備(農地整備)
  - 8.その他(具体的に記入)
- 砕石について
- 1.舗装の下層路盤材
  - 2.舗装の上層路盤材
  - 3.構造物の裏込材、基礎材
  - 4.その他(具体的に記入)
- 塩化ビニル管・継手について
- 1.水道(配水)用
  - 2.下水道用
  - 3.ケブル用
  - 4.農業用
  - 5.設備用
  - 6.その他
- 石膏ボードについて
- 1.壁
  - 2.天井
  - 3.その他
- その他の建設資材について  
(利用用途を具体的に記入して下さい)

- コード\*7**  
再生資材の供給元について
- 1.現場内利用
  - 2.他の工事現場(陸上)
  - 3.他の工事現場(海上)
  - 4.再資源化施設
  - 5.土砂ストックヤード
  - 6.その他
- コード\*8**  
施工条件について
- 1.再生材の利用の指示あり
  - 2.再生材の利用の指示なし

- コード\*9**  
コンクリートについて
- 1.再生生コン(Co再生骨材H)
  - 2.再生生コン(Co再生骨材M)
  - 3.再生生コン(Co再生骨材L)
  - 4.再生生コン(その他のCo再生骨材)
  - 5.再生生コン(Co再生骨材以外の再生材)
  - 6.再生無筋コンクリート二次製品
  - 7.その他
- コンクリート及び鉄から成る建設資材について
- 1.再生有筋コンクリート二次製品
  - 2.その他
- 木材について
- 1.再生木材(ボード類を除く)
  - 2.再生木質ボード
- アスファルト混合物について
- 1.再生粗粒度アスコン
  - 2.再生密粒度アスコン
  - 3.再生細粒度アスコン
  - 4.再生改質アスコン
  - 5.再生加熱アスファルト安定処理路盤材
  - 6.再生アスファルトモルタル
  - 7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材
  - 8.その他
- 土砂について
- 1.第一種建設発生土
  - 2.第二種建設発生土
  - 3.第三種建設発生土
  - 4.第四種建設発生土
  - 5.浚渫土
  - 6.土質改良土
  - 7.建設汚泥改良土
  - 8.再生コンクリート砂
- 砕石について
- 1.再生クラッシャーラン
  - 2.再生粒度調整砕石
  - 3.鉱さい
  - 4.その他
- 塩化ビニル管・継手について
- 1.再生硬質塩化ビニル管
  - 2.その他
- その他の建設資材について  
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

注1:再生資材利用量について  
アスファルト混合物等で、利用した再生材(製品)の中に、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材(製品)の利用量を記入して下さい。

裏面にもご記入下さい

# 様式2 再生資源利用促進計画書(実施書) - 建設副産物搬出工事用 -

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい。   灰色の部分は、記入する必要がありません。

2. 建設副産物搬出計画(実施) 現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについてご記入下さい。 ※住所情報は、国の施策立案等において活用させていただきますので、番地までご記載願います。

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第一位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤(%)	
		現場内利用		減量化		搬出先名称		区分	施工条件 の内容 コード*12	搬出先場所住所※			搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量			⑤再生資源 利用促進量 (注2)
		用途 コード*10	②利用量 小数点第一位まで	うち現場内 改良分 小数点第一位まで	減量法 コード*11	③減量化量 小数点第一位まで	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上に わたる時は、用紙を換えて下さい。			どちらかに○を 付けて下さい	住所コード *4	千		百	十		
資材廃棄物	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1	公共 民間					km	トン	トン	トン	%	
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間					km	トン	トン	トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1	公共 民間					km	トン	トン	トン	%	
建設廃棄物	その他がれき類	トン				搬出先1	公共 民間					km	トン		トン	%	
	建設発生木材 (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間					km	トン		トン	%	
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間					km	トン	トン	トン	%	
	金属くず	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間					km	トン	トン	トン	%	
	廃塩化ビニル管・継手	トン				搬出先1	公共 民間					km	トン		トン	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン				搬出先1	公共 民間					km	トン		トン	%	
	廃石膏ボード	トン				搬出先1	公共 民間					km	トン		トン	%	
	紙くず	トン				搬出先1	公共 民間					km	トン		トン	%	
	アスベスト (飛散性)	トン				搬出先1	公共 民間					km	トン		トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1	公共 民間					km	トン		トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン				搬出先1	公共 民間					km	トン		トン	%	
	建設発生土	第一種 建設発生土	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>		搬出先1	公共 民間					km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	%
第二種 建設発生土		地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>		搬出先1	公共 民間					km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	%	
第三種 建設発生土		地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>		搬出先1	公共 民間					km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	%	
第四種 建設発生土		地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>		搬出先1	公共 民間					km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>		搬出先1	公共 民間					km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	%	
合計		地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>									地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	%	

コード\*10  
1.路盤材 2.裏込材  
3.埋戻し材  
4.その他(具体的に記入)

コード\*11  
1.焼却 2.脱水  
3.天日乾燥  
4.その他(具体的に記入)

コード\*12  
施工条件について  
1.A指定処分  
(発注時に指定されたもの)  
2.B指定処分(もしくは準指定処分)  
(発注時には指定されていないが、  
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)  
3.自由処分

コード\*13(詳細は「表11」参照のこと)  
【建設廃棄物】の場合  
1.売却 8.廃棄物最終処分場(海面処分場)  
2.他の工事現場 9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)  
3.広域認定制度による処理 10.その他の処分  
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)  
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)  
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)  
7.中間処理施設(単純焼却)

【建設発生土】の場合  
1.売却 7.ストックヤード(再利用先工事が未決定)  
2.他の工事現場(内陸) 8.工事予定地  
3.他の工事現場(海面) 9.採石場・砂利採取跡地等復旧事業  
ただし、廃棄物最終処分場を除く 10.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)  
4.土質改良プラント(再利用先工事が決定) 11.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)  
5.土質改良プラント(再利用先工事が未決定) 12.建設発生土受入地(公共事業の土捨場)  
6.ストックヤード(再利用先工事が決定) 13.建設発生土受入地(農地受入)  
14.建設発生土受入地(民間土捨場・残土処分場)

注2:再生資源利用促進量について  
現場外搬出量④のうち、搬出先の種類  
(コード\*13)が  
【建設廃棄物】の場合  
1.~6.の合計  
【建設発生土】の場合  
1.~6.の合計

# 建設発生土搬出のお知らせ

平成 年 月 日

様

会 社 名

現場代理人氏名

下記のとおり、貴区市町村内の受入れ先に建設発生土を搬出いたしますので、お知らせいたします。

工 事 件 名	
工 事 場 所	
工 事 概 要	
工 事 発 注 機 関 名	
工事監督職員又は担当者名	
連絡先機関・電話番号	TEL :
工 事 請 負 業 者 名	
担当者名・電話番号	氏名: TEL :
建設発生土の運搬業者	
建設発生土の受入先名等 住 所	
建設発生土の運搬経路	(別添図面のとおり)
建設発生土の搬出時期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
建設発生土の土質・土量	土質: 搬出量: m <sup>3</sup>

注) この書面は建設発生土の搬出が100m<sup>3</sup>以上の場合に用いる

